

学校運営協議会（第2回）議事録

校名	府立大阪北視覚支援学校
校長名	太田 淳一郎

開催日時	令和7年12月4日（木）9：30～11：30
開催場所	大阪府立大阪北視覚支援学校 同窓会館1階
出席者(委員)	猪俣則広、亀甲孝一、佐々木一男、新開眞琴、荒木裕子、山本利和
出席者(学校)	太田校長、佐藤教頭、造田教頭、眞野事務長、小倉首席、熊谷首席、滝口首席
欠席	なし
傍聴者	なし
協議資料	令和7年度 学校経営計画及び学校評価
備考	

議題等(次第順)

- 1 挨拶
- 2 学校運営協議会委員の確認
- 3 協議案件・報告
  - (1) 令和7年度 学校経営計画 進捗状況について
  - (2) 意見書について
  - (3) 大阪府学校教育審議会支援学校部会について
  - (4) 給特法（公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法）の改正に伴う対応について
- 4 その他
- 5 挨拶
- 6 連絡

協議内容・承認事項等（意見の概要）

- 1、2 省略
- 3-（1）令和7年度 学校運営計画について（太田校長）
 

今年度の学校経営の進捗状況について報告があった。

  - 社会の変化と、視覚障がい教育の多様なニーズに応じた指導力のある学校
    - ・校長による授業見学を9割以上実施。フィードバックシートを作成している。ICT機器の活用も進んでおり、授業アンケートの結果も良好。
  - 安全で安心な環境のもと、人権を尊重し豊かな社会性と人間性を育む
    - ・総合防災訓練について、放送が利用できない場面を想定して10月に実施。学校安全日を毎月1日に変更して、安全管理の啓発を行っている。
  - センター的機能を発揮し、確かな支援を実践する
    - ・来校支援を減らし、訪問教育を増やしている。情報発信として、校長ブログ・学校日誌を多く挙げている。本校と大阪南視覚支援学校との支援の違いについて質問があった。
  - 専門性の維持・継承・充実・発展に取組む
    - ・専門性講座20回以上、延べ200人近い教員が参加。視覚障がい教育サロンも2回で延べ40人以上の参加。
  - 幼児児童生徒の成長のために教職員が協力して生き生きと働く学校
    - ・時間外在校時間30時間以上の教員が半減。能動的・主体的・協力的な学校運営が進んでいる。
- 3-（2）スマホのアプリを利用した連絡帳の導入についての要望。
 

来年度からの連絡帳アプリ導入に向けて検討していたが、府立学校全体で連絡帳アプリを導入する予定となっている。
- 3-（3）11月14日の「審議会のまとめ」について報告。
- 3-（4）業務量管理・健康確保措置実施計画の策定に関して、来年度の学校経営計画に含めて、次回の学校運営協議会で示す予定予定。
- 4 特になし
- 5、6 省略

次回の会議日程

日時	令和8年2月頃を予定
会場	大阪府立大阪北視覚支援学校 同窓会館1階